

アフリカ地域研究のための基本文献

<事典>

小田英郎他監修 (2010) 『[新版 アフリカを知る事典](#)』 平凡社 772 頁

近年のアフリカの政治経済の動きの速さは著しい。しかしこの種の事典の存在価値がなくなった訳ではないことが体感できる本である。国別の情報はもとより項目編も充実しており、文字通りアフリカに関する質問にいち早く答えてくれる事典である。

加藤博・島田周平編 (2012) 『[世界地名大事典：第3巻 中東・アフリカ](#)』 朝倉書店 1174 頁。

地名の検索にはウィキペディアをはじめ様々な手段があり、手っ取り早くその検索に走ることが多い。しかしアフリカの場合それらの情報には根拠のはっきりしないものも多い。その点この事典ではアフリカ各地の文化や歴史についても言及されており、地名を入りに地域を理解することに役立つ。

<入門・概説書>

宮本正興・松田素二編 (1997) 『[新書アフリカ史](#)』 講談社現代新書 596 頁

自然環境から歴史、そして現代までアフリカを網羅した入門書で、アフリカを学ぼうとする人にとっては極めて有用な入門書である。この本と山川出版社の『世界現代史 アフリカ現代史』を参照すればアフリカ史の理解はより一層深まるであろう。

『世界現代史 アフリカ現代史 I～V』 (1978～) 山川出版社

I : [総説・南部アフリカ](#), II : [東アフリカ](#), III : [中部アフリカ](#),
IV : [西アフリカ \(2版\)](#), V : [北アフリカ](#)

1978 年以降に出版された山川出版社の世界現代史のシリーズに含まれるアフリカ版である。アフリカの年といわれた 1960 年代が終わり、独立政権が様々な課題に直面しつつあった 1970 年代に出版された歴史概説書。アフリカの現代を考える際に役に立つ必読のシリーズである。

勝俣誠 (2013) 『[新・現代アフリカ入門—人々が変わる大陸](#)』 岩波新書 250 頁

現代アフリカはダイナミックな変化を遂げている。冷戦構造崩壊後の民主化の波にのまれるアフリカ、援助の対象から資源豊かな大陸へと変わるアフリカ。この本はアフリカの実相を描くことによってアフリカが、そして我々が取り組むべき課題とは何かを考えさせる本である。20 年前に出版した『現代アフリカ入門』の現代版である。

<専門書・研究書>

峯陽一・武内進一・笹岡雄一編 (2010)『[アフリカから学ぶ](#)』有斐閣 430 頁

現代アフリカが直面している問題を「知る」だけでなく、関わりを持つことによってアフリカから何かを「学ぶ」ことの重要性を教えてくれる本である。アフリカと長い時間関わり合ってきた研究者や援助の実践に携わってきた人達から学ぶことの多い本でもある。

小倉充夫 (1989)『[現代アフリカへの接近](#)』三嶺書房 228 頁

小倉充夫 (1982)『[開発と発展の社会学](#)』東京大学出版会 226 頁

この 2 冊の本は、社会学者がアフリカ研究を目指す時に誰もが直面する問題、すなわち科学の普遍性志向と文化の多様性との折り合いの問題に、社会学者でありアフリカ研究者である著者が真摯に取り組んだすぐれた本である。大学院に進学する希望を持つ人にはぜひ読むことを勧めたい本である。

高橋基樹 (2010)『[開発と国家：アフリカ政治経済論序説](#)』勁草書房 461 頁

この本は社会科学と地域研究の間の緊張関係を糧に、経済学の理論とアフリカ地域研究の成果がみせる多様性とを架橋した意欲的な本である。経済学や開発学を基礎にアフリカ問題にアプローチしようと考えている人にとっては参考になる良書である。

川端正久・落合雄彦編 (2006)『[アフリカ国家を再考する](#)』(龍谷大学社会科学研究所叢書 65 巻) 晃洋書房 389 頁

東西体制の崩壊後進んだ民主化の流れはアフリカにおいては紛争の拡大につながってきた。「破綻国家」論が提起されるようになってきた 1990 年代以降のアフリカ政治について考える時に参考になる書である。初心者には少し難しいが、チャレンジする価値はある。

島田周平 (2007)『[現代アフリカ農村-変化を読む地域研究の試み-](#)』古今書院 182 頁

国レベルの政策が具体的に村レベルの農業生産や農民にどのような影響を与えているのか、ポリティカル・エコロジー論的視点も交え論じた地域研究の本である。地域研究に興味を持つ学生にとって、入門書として良い本である。

『[京都大学アフリカ研究シリーズ](#)』京都大学地域研究資料センター

このシリーズは、博士論文をもとにして執筆された本のシリーズである。いずれの本も、長期の現地調査結果をもとに書かれた力作ばかりで、将来アフリカの地域研究を目指す学生には参考になるものが多い。2011 年より出版されており 2013 年現在 12 冊の刊行をみている。

(2013 年 12 月 島田周平)